

2017年度冬学期「都市の交通政策Ⅰ・Ⅱ；交通まちづくりの理論と実践」

木曜日の6限(18:40-20:05)・7限(20:10-21:35)

担当教員名 原田 昇

□講義の目的

まちづくりに貢献する交通計画の理論を理解し、先進事例を通して、そのポイントを理解する。

□成績評価

出席状況とレポート(2回)に基づき評価する。

レポートは合成形成/調査手法に着目した事例分析と計画制度/担い手育成に着目した事例分析とする。

□講義項目と日時 11/30, 12/7, 14, 21, 1/11, 18, 25, 2/1

1. 「交通まちづくり」序論

① 「交通まちづくり」の昨日、今日、明日 原田昇(東大都市工) 11/30(6限)

2. 「交通まちづくりミニWS～「東京、その移動と未来の都市像を構想する」～」 12/7(6,7)

① 東京2050 実践編 1830-2000

・池袋新駅×豊洲開発×調布都市型道の駅(予定)

・コネクティッドカーと東京×自動運転の未来(予定)

② 東京2050 社会実装編 2030-2130

東京五輪に向けたモビリティ2050の社会実装に向けた産官学のビジョンについて議論

羽藤英二×森昌文(予定)

3. 「交通まちづくり」の理論

① ビジョンの構築と合意形成 高山純一(金沢大学) 12/14(6)

② 交通まちづくりの調査手法 溝上章志(熊本大学) 12/21(6)

③ 交通まちづくりの制度 谷口守(つくば大学) 1/11(6)

④ 交通まちづくりの担い手 土井勉(大阪大学) 1/25(6)

4. 「交通まちづくり」の実践

① 金沢市: 条例制定によるまちづくりの継承 高山純一(金沢大学) 12/14(7)

② 宇都宮市: ネットワーク型コンパクトシティ 森本章倫(早稲田大学) 11/30(7限)

③ 熊本市: 公共交通の再デザイン 溝上章志(熊本大学) 12/21(7)

④ 京都市: 「歩くまち・京都」の試みと実践 土井勉(大阪大学) 1/25(7)

⑤ 交通まちづくりの実務から 民間コンサル研究者予定 1/18(6)

⑥ 交通まちづくりと交通実験 久保田尚(埼玉大学) 1/11(7)

5. 「交通まちづくり」の未来

① 子育て、子育ての交通まちづくり 大森宣暁(宇都宮大学) 2/1(6)

② 歩きやすい都市づくりに向けての回「遊」性戦略 野原卓(横浜国立大学) 1/18(7)

③ 交通都市2050を考える 羽藤英二(東大社基) 2/1(7)

参考文献

1) 原田昇編著、「交通まちづくり～地方都市からの挑戦」、鹿島出版、2015年7月

2) 交通まちづくり研究会編著、「交通まちづくり～世界の都市と日本の都市に学ぶ」、交通工学研究会、2006年7月

以上